

2020年11月20日  
住友生命保険相互会社

## CVC ファンド「SUMISEI INNOVATION FUND」を設立

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、オープンイノベーションによる新たな価値創造を加速するため、CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)ファンド「SUMISEI INNOVATION FUND」(以下「本ファンド」)を、SBI インベストメント株式会社(代表取締役執行役員社長 川島 克哉、以下「SBI インベストメント」)と共同で設立しました。

### 1. 本ファンド設立の目的

#### 【オープンイノベーションのさらなる推進】

住友生命は、お客さまにとってそして社会にとって「なくてはならない」保険会社の実現を目指し、VC(ベンチャーキャピタル)ファンド投資やオープンイノベーション推進組織の設置等、スタートアップ企業などとの共創に取り組んでいます。

CVC は、将来性のあるスタートアップ企業への投資を通じて、事業共創を効率的・効果的に推進する仕組みであり、本ファンドの設立は、新事業創造・新価値創造のイノベーションをより一層、加速させることを目的としています。

住友生命は、CVCを通じた事業共創により、“住友生命「Vitality」”の進化、お客さまが幸せを感じ輝く人生を送るサポートとなるようなウェルネスエコシステムのネットワーク創出、新しいテクノロジーやサービスを活用した「生命保険を身近に感じる顧客体験」「お客さまと保険会社の新たな接点」の創出などを実現していきます。

<「スミセイ中期経営計画 2022」全体像>



## 2. 本ファンドの概要

ファンド名	SUMISEI INNOVATION FUND (名称：「SUMISEI-SBI 投資事業有限責任組合」)
運営の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SBI インベストメント(GP<sup>※1</sup>)は、投資先の探索および投資可否の判断を行う。</li> <li>・ 住友生命(LP<sup>※2</sup>)は、投資先候補との協業プランを検討し、事業共創を推進する。</li> </ul>
ファンド規模	80 億円
設 立 日	2020 年 11 月 20 日
運 用 期 間	10 年
主な投資領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “住友生命「Vitality」” による健康増進活動を中心としたウェルネス関連企業などとのエコシステム構築</li> <li>・ 「体の健康」だけでなく「体・心・社会的健康」を目指す Well-Being 領域</li> <li>・ 「生命保険を身近に感じる顧客体験」や「お客さまと保険会社の新たな接点」創出に活用できる新しいテクノロジーやサービス</li> <li>・ DX の推進</li> </ul>
投資ステージ	ミドルステージを <sup>※3</sup> 中心に、シード・アーリー <sup>※3</sup> に対する R&D 投資、短期の事業共創の対象となるレイター <sup>※3</sup> を対象とする

※1 ゼネラルパートナー(無限責任組合員)。組合運営に関し全責任を無限に負う。

※2 リミテッドパートナー(有限責任組合員)。資金出資者であり、その責任が出資した金額のみに限定される。

※3 シードステージ : 事業アイデア・ビジネスモデルがある段階

アーリーステージ : プロトタイプが完成している段階

ミドルステージ : 事業が本格的に成長を始めた段階

レイターステージ : 事業が拡大し、上場を視野に入れる段階

## 3. SBI インベストメントの概要

会 社 名 : SBI インベストメント株式会社

事 業 内 容 : ベンチャーキャピタルファンド等の運用・管理

設 立 : 1996 年 6 月 7 日

代 表 者 : 代表取締役執行役員社長 川島 克哉

本社所在地 : 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー

以上